

2026年1月29日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会
一般社団法人大手家電流通協会

JC-STAR制度普及へ、製販連携を本格推進

家電も住まいも“つながる”時代に、IoTを安心に。

暮らしのセキュリティをより確かなものに

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 漆間 啓 三菱電機株式会社代表執行役 執行役社長 CEO）と、消費者の生活向上を目的に活動を行う家電量販店の業界団体である一般社団法人大手家電流通協会（CED：代表理事長 山田 昇 株式会社ヤマダホールディングス 代表取締役会長兼 CEO）は、消費者向け IoT 家電・機器のセキュリティ対策を推進する国の認証制度「JC-STAR制度」の普及に向け、製販連携による取り組みを推進していくことを発表しました。第一弾として、家電量販店店頭を活用した啓発イベント「未来の暮らしを、もっと安全に。JC-STARで選ぶ IoT」を2月26日(木)に開催します。

近年、IoT技術の進化により、ネットワークに接続された家電製品や住宅設備機器が家庭に広く普及し、生活の利便性は大きく向上しています。一方で、セキュリティ対策が不十分な機器を起点とした不正アクセスや情報漏えい、外部攻撃の踏み台化といったリスクも顕在化しています。こうした状況を踏まえ、日本政府は消費者向け IoT 製品のサイバーセキュリティ対策として、「JC-STAR制度」を整備し、IoT 製品における“最低限守るべき安全品質”を可視化する取り組みを進めています。本制度は、消費者が安心して製品を選択できる環境づくりにつながるとともに、日本全体の IoT セキュリティ水準の底上げに寄与するものです。

JEITAスマートホーム部会部会長の丹 康雄（国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学副学長）は次のように語っています。

「JC-STAR制度の普及にあたっては、製造事業者が制度に基づいたセキュリティ対策を講じた製品を市場に供給するだけでなく、生活者に最も近い接点である家電量販店の店頭にて、その意義やメリットをわかりやすく伝えることが不可欠です。今回の製販連携による普及啓発の取り組みは、家庭で利用される『IoT 家電・機器』を対象に、複数の機器が連携する『スマートホーム』環境における安全性を高めることを目的としたもので、製造事業者によるセキュリティ対策の強化と、家電量販店店頭でのわかりやすい情報提供・提案を連携させることで、生活者が安心して製品を選択できる環境づくりを目指します。」

JEITAとCEDは、製造と販売がそれぞれの役割を担いながら連携を強化し、「価格」や「機能」、「デザイン」に加えて、「セキュリティ」を新たな製品価値として提案する社会の実現を目指します。制度の理解促進から購買時の意思決定支援までを一体的に進めることで、JC-STAR認証製品の普及を加速させていきます。

本製販連携活動の第一弾として開催する、家電量販店店頭を活用した啓発イベント「未来の暮らしを、もっと安全に。JC-STAR で選ぶ IoT」では、JC-STAR 制度の概要紹介に加え、サイバー攻撃デモ、最新の認証製品の展示や分かりやすい解説を通じて、生活者が安全・安心な IoT 製品を選ぶための情報提供を行います。

◆ JC-STAR × スマートホーム機器普及啓発イベント

「未来の暮らしを、もっと安全に。JC-STAR で選ぶ IoT」

日時：2026 年 2 月 26 日(木) 14:00～17:30

会場：イベント会場 — アットビジネスセンター池袋駅前別館（東京都豊島区東池袋 1-6-4）

機器展示会場 — ヤマダデンキ LABI 池袋本店（東京都豊島区東池袋 1-5-7）

主催：一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

共催：一般社団法人大手家電流通協会（CED）

協賛：シャープ株式会社／パナソニック株式会社／三菱電機株式会社／

エレコム株式会社／オムロンソーシアルソリューションズ株式会社／

株式会社バッファロー／株式会社 LIXIL／株式会社 ACCESS／

横河電機株式会社

後援：一般社団法人エコーネットコンソーシアム／一般社団法人住宅生産団体連合会／

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会／

一般社団法人デジタルライフ推進協会／

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会／独立行政法人情報処理推進機構

両団体は、制度の周知・理解促進に向けた取り組みを継続的に展開し、安全・安心な日本の IoT 社会の実現に貢献していきます。今後の取り組みは、随時発表いたします。